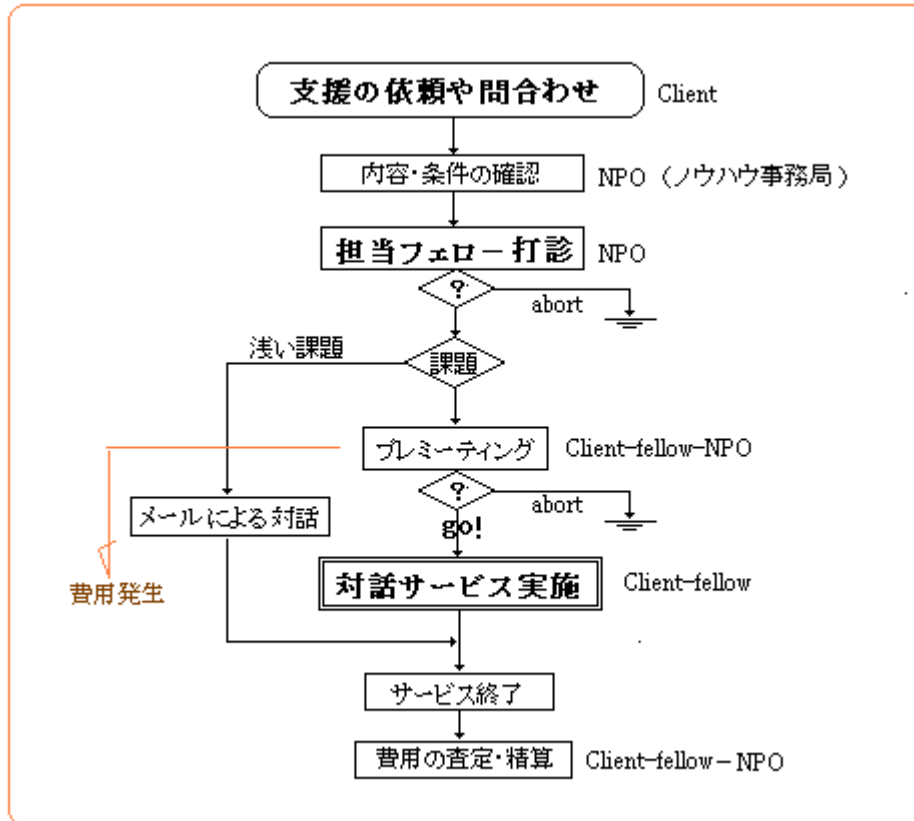


【 対話サービスについて 】

対話サービスは、被支援者からの支援依頼や相談に応じて適任のフェローを探し、技術支援を行うものです。その場合、支援の形は単なる情報源の紹介から現場での実務的指導まで実に様々ですが、いずれの場合も、被支援者との対話に軸足を置いて親密な支援を心がけます。

手順を追って対話サービスの流れを表わすと、次のようになります。



被支援者から依頼や相談があれば、ノウハウ会事務局は、事案の内容や条件を確認した後で登録フェローや外部フェロー(*)に打診を試み、もし適任者がみつかれば、顔合わせを兼ねてプレ的なミーティングを行います。そこでマッチングが確認できれば、予算をベースに取決めを結んで対話サービスをスタートさせます。なお内容的に浅い課題であれば、ミーティングを省いて主にメールによるやりとり(Q&A方式)で対話を行います。サービスが終了した時点で費用等を精算します。より詳しくは、添付の「[支援活動に関する取り決め](#)」を参照してください。

(*) 添付の登録フェローリストをみていただければわかるように、現状ではまだ数が少なく、広範なニーズに答えるは至難の極みです。登録フェローに該当がなければ、大阪府産業支援シニア活動センター関連の外部知見者(→外部フェロー)を打診して担当してもらうことになります。